

学園だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北湊学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第4号 令和元年6月20日発行

文責 校長 牛島 俊哉

「義務と名誉を貫いて」

故ダニエル・ケン・イノウエ米国上院議員が大切にされた言葉

いろいろな国が、日本で必要な仕事を行う施設を「大使館」や「領事館」といいます。米国（アメリカ合衆国）の大使館は東京都にあります。米国の領事館は北海道、大阪府、愛知県、沖縄県そして福岡県の5か所にあります。領事館の中心となる人を、「首席領事」といいます。米国の首席領事は、日本にたった5人しかおられません。

なかなか会うことのできない首席領事に、上陽北湊学園の代表生徒が会うことができました。

1回目は、5月20日（月）の在福岡米国領事館への訪問です。



サクライ首席領事の話聞く子どもたち

お会いできたのは、在福岡米国領事館のジョイ・ミチコ・サクライ首席領事です。左の写真の中央右側に立っている方です。

児童生徒会の子どもたちに、リーダーシップについての講義をしていただきました。

「人生において、だれも歩んだことのない道を歩くことは、勇気と責任を要する。」

2回目は、6月10日（月）のサクライ首席領事の上陽町への訪問です。

領事館への訪問をきっかけに、八女市と領事館との間で話が進み、八女市長との懇談やダニエル・ケン・イノウエ元上院議員のお墓参り、記念樹のハナミズキの見学などのために、首席領事が上陽町を訪れました。

子どもたちをととても大事にされ、合間の時間にいろいろ



Web版につき画像を修正しています

今回は、初めての取り組みということで、代表生徒による交流でした。しかし、今後は、このつながりをもとにして、多くの子どもたちが領事館を見学したり外国の学校と交流したりできるようにと考えています。

首席領事との出会いのきっかけの一つに、故ダニエル・ケン・イノウエ元上院議員の存在があります。右の写真の説明のように、ダニエル元上院議員は、上陽町に深いゆかりのある方です。サクライ首席領事は、若いころダニエル元上院議員のもとで働いた経験があり、とても尊敬していたということです。ダニエル元上院議員のルーツが上陽町にあることを知り、訪れたいと考えられたようです。

ダニエル元上院議員は、「義務」と「名誉」という言葉を大切にしていました。

「やるべきことをやり通すこと」

「自分自身に誇りをもつこと」

上陽北浜学園の子どもたちが、自分自身やふるさとに誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てていきたいと思いま

なお、今回の訪問にあたって、地域コーディネーターの末廣修一さんに大変ご尽力いただきました。ありがとうございました。



写真提供：共同通信社

ダニエル・建・イノウエ

アメリカ上院議員。1924年9月7日ハワイ州ホノルル生まれ。祖父母・父は八女郡横山村出身。日系2世。ハワイ大学在学中に太平洋戦争勃発。日系人部隊「第442連隊戦闘団」に配属され、イタリア戦線で右腕を失うがその働きにより数々の勲章を受章し、英雄と讃えられる。1962年ハワイ州から連邦上院議員に初当選。以後連続9回当選し、現在は上院議員最古参で上院議長代行の地位にある。1999年「勲一等旭日大綬章」受章。2000年大統領から軍人に贈られる最高位の名誉勲章を受章。2011年春の叙勲では外国人が受章する最高位の勲章「桐花大綬章」が日本政府から贈られる。



ホテルと石橋の里公園のハナミズキ